

## 教育講演

### 咬合誘導の臨床——理想と現実——

福岡歯科大学小児歯科学講座

教 授 吉 田 穣

10月17日（土）10：50～12：00

#### 略 歴

昭和22年	福岡県立医学歯学専門学校歯学科卒業
昭和29年	医学博士
昭和34年	九州歯科大学 講師
昭和41年	九州歯科大学 助教授
昭和48年	福岡歯科大学 教授
昭和58年	日本小児歯科学会九州地方会会长

#### 〔要 旨〕

我々は、総合咀嚼器官の完成時の（一応第2大臼歯萌出完了期までを想定）、個性正常咬合構築をめざし、将来特に歯牙交換期に障害を起こす恐れのある異常の発現阻止・抑制や早期発見、更にこれらによる被害の減少のための対策に真剣にとり組み、これらを総括して“咬合誘導”と称している。未だまとまった考え方や体系を示す域には達してはいないが、一応これまで経験した多くの症例を振り返りつつ、私見の一部を述べみたい。